

ふぞくの風



子どもたちのナイストライ！

校長 橋元 忠史

すでに本年度も前期と後期前半が終了しました。2学期制であるため、学期の終了とも重なる公立小学校とは、この12月末という時期の学校の風景は少し異なる気がします。最後の最後まで日常が繰り返されていた「学びと育ちのステージ:鹿附小」という感じでしょうか。

ただし、その日常はほんの少しずつですが、変化してきているように見受けられます。その象徴的なことが「自分たちで日常の学校生活を意識的によりよくしていこうというナイストライ！する姿」だと。そんな姿が徐々に目立つようになってきた気がします。学校生活の中で自分の判断で使える時間はとても少ないです。朝の時間と昼休み、あとは委員会活動や学級活動として主体的な活動が確保された時間くらい。

そんな中、年間でもっとも大きな学校行事である運動会を自分たちの手で盛り上げようとした実行委員会の姿。朝の時間帯に決められた内容や分担ではなく、自分でできるそして決めたちよとしたボランティア活動を自分の意志で続ける子ども。給食時間の放送で学校全体にかかわる積極的な働きかけを放送で自主的に呼びかける貢献意識の高い高学年委員会の子どもたち。本年度、児童会テーマである新しい、そして魅力的な附属小を目指して先生方を説得し、昼休みに「学校かくれんぼ」を企画・実行した計画運営委員会の子どもたち。さらに、毎日のようにどこかで繰り返される「マイプロジェクト」の各プロジェクトによるイベントの数々。

しかし、これらの大きく表面化しているトライもですが、きっと一人一人の中で繰り返されてきた日常生活の充実そのものは多々あったのではないかと推測します。

附属小の子どもたちには、ぜひ冬休み、そんな納得感・ワクワク感・手応え感を振り返るとともに、新たな夢や目標について家族をはじめとした様々な人々と語り合う機会があることを願います。よいお年をお迎えください。



【1月の主な行事】

8日(水)	冬季休業(～8日)	17日(金)	複式学級入学抽選
9日(木)	新一年生入学児童選考諸検査	20日(月)	附属幼稚園入学抽選
14日(火)	後期後半開始	21日(火)	図書通常貸出開始
15日(水)	図書返却期間(～15日)	27日(月)	標準学力検査(～29日, 1～5年)
	入学選考準備短縮午前授業(～20日)	28日(火)	新一年生入学児童抽選, 入学説明会
	図書返却完了日	30日(木)	※児童休み
			事前研究会(全学年6校時まで)
			PTA理事会, PTA選考委員会
			マナーアップ強調週間(～7日)



● 新年を迎える準備 ～ちからの会 門松づくり～

12月14日(土)に、ちからの会の保護者の皆様と職員で門松作りを行いました。ちからの会の皆様には、美化作業や運動会での校内巡視、交通整理等、学校に泊まろう会でも協力をいただいています。そして、今回の門松づくりが今年度の最後の活動となりました。

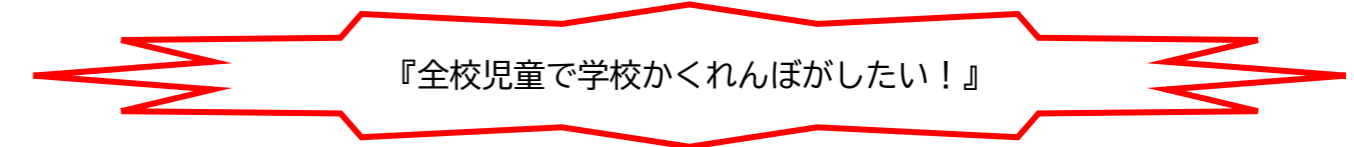


【出来上がった門松とちからの会の皆様】

作業開始から1時間ほどで見事な門松が完成しました。16日(月)に登校してきた子どもたちも立派な門松を見て、嬉しそうな表情を見せていました。

学校や子どもたちのために尽力いただいているちからの会の皆様は、本校の「緑の下の力持ち」です。ちからの会の皆様のおかげで、附属小学校も新年を迎えるよい準備ができました。本当にありがとうございました。

● 「笑顔あふれる附属」「新しい附属」をつくりたい！ ～計画運営委員会主催『学校かくれんぼ』～



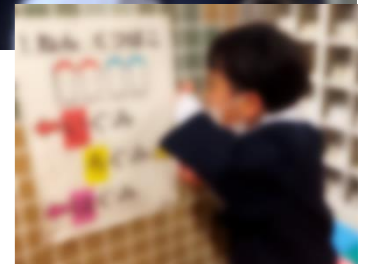
児童会ポストに寄せられた子どもたちの声。この声に応え、新しい附属小をつくりたいと立ち上がった計画運営委員会の子どもたちは、自分たちで計画書を作成し、先生方からの「ルールはどうあればよいか。」「安全に実施するにはどうすればよいか。」「先生方には、どんなことをお願いするのかな。」などといった指摘を一つ一つクリアしながら実施に漕ぎつけました。

そして迎えた12月18日(水)13時30分、子どもたちの捜索がスタートしました。13名の先生方を一斉に探す子どもたち。「ここの壁の音が違うよ。壁の中に誰か隠れているかも。」「わたし、〇〇先生を見つけたよ！」子どもたちの笑顔や歓声が溢れていました。



捜索終了の13時50分まで隠れ切った橋元校長先生。校長先生が現れたのは西階段下の倉庫。「そこも捜したのにな。」多くの子どもたちから残念そうな声が聞かれました。

初の試みとなった『学校かくれんぼ』は、子どもたちの主体性を育むとともに笑顔あふれる大成功の企画となりました。



● 後援会の皆様 ありがとうございました

合唱部の全国大会出場、吹奏楽部の西日本大会出場に伴い、横断幕を作成させていただきました。

出来上がった横断幕を見た子どもたちから喜びの声が沸き上がるとともに、大会に向けて更にながらばっていこうという気持ちが高まったようです。

子どもたちのがんばりに対し、ご支援いただいている後援会の皆様、ありがとうございます。

